

都市再生整備計画(第5回変更)

こまがたしゅうへんちく
駒形周辺地区

ぐんま まえばしし
群馬県 前橋市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	前橋市	地区名	駒形周辺地区	面積	999 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標
<p>心・技・体を育む安全安心なスーパーモデル学園都市の形成と緑、水、スポーツ、生命を慈しみ楽しむラブリバーづくり</p> <p>小目標：安全安心で心・技・体を健やかに育む欧州型のスーパーモデル学園都市の形成</p> <p>小目標：環境にも健康にもやさしい自転車利用を促進し、市民が憩い楽しめるラブリバーづくり</p> <p>小目標：ラブリバー整備による地域の活性化と観光促進及び基盤整備</p>

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>・駒形周辺地区は前橋市東部に位置し、乗降客数5,000人を有するJR駒形駅があり、鉄道機関のみならず北関東自動車道駒形インターチェンジが密接しており、主要地方道前橋・館林線及び藤岡・大胡線が交差していることから、鉄道駅と道路結節点とが近接する交通の要衝として、本市の新たな拠点として位置付けられ、今後の大いなる発展が見込まれる地域である。</p> <p>・鉄道、高速道などのマルチな交通の利便性が優れた拠点地域であり、赤城山の雄大な景色が望め、緑と川の豊かな自然を備えた郊外地であることから、近年、大学、専門学校等の進出が進み、現在では、石関町周辺の高校、養護学校、職業訓練校、医療・技術・芸術・美容の専門学校、駒形駅周辺の中学高校、国際大学、電子・調理・製菓技術・ビジネス等の専門学校の新設・移転により、一大学園都市エリアとしての形成が始まっている。</p> <p>・この新しい学園都市エリアは、セキュリティと美しさが備わった安全安心で良好な環境整備を行い、豊かな緑、清らかな川、穏やかな風等の自然を親しみ、地域の歴史的資産等の文化に触れることができ、気軽にスポーツが楽しめる機会や環境を整備することにより、技術の習得だけでなく心と体を育む、全国のモデルとなる、欧州をイメージする学園都市化が可能な地域となっている。</p> <p>・学園都市としてのブランド整備により、安全安心な生活環境に囲まれて豊かで美しい自然とともに学び生きる欧州型学園都市の形成を目指す県内市内有数の新拠点となり、さらなる教育関連機関誘致や民間資本活用による、大規模な地域振興都市再生が見込まれる。</p> <p>・本市は、環境汚染、交通渋滞、市街地過疎化の要因となる自動車利用から環境保全・健康増進等に役立つ自転車利用を進めるために、全国3市の一つとして、平成17年3月に自転車利用のスーパーモデル地区に認定され、群馬県も“自転車王国群馬”として自転車利用の促進事業を進めている。環境都市、生命都市(生命都市いきいき前橋)の一つのビジョンとなる、環境にも健康にもやさしい自転車利用のさらなる促進を図るため、又、学園都市の学生を含めた、合併後のすべての市民が、自転車利用(サイクリング)をより楽しく、レクリエーションとして体験でき、憩い楽しめることができるように、このエリアの中心を流れる桃ノ木川・広瀬川及びその周辺のラブリバー整備を行い、自転車利用の促進とゆとりの増加、自然や環境、生命を慈む、こころの醸成を図る。</p>
課題
<p>・地域の核となるJR駒形駅は駅舎の老朽化(明治22年より利用)が進み、乗降者の多い中核駅にもかかわらず、北口には簡易改札口しかなく、駅前広場が未整備のため、ターミナル機能・交通結節機能が機能していないばかりでなく、安全性の向上が急務となっている。さらに駅へのアクセスについては、狭小の道路幅員等の脆弱な道路基盤により、歩行者、自転車利用者、自動車利用者ともに安全な通行が困難となっており、非常に複雑で利用しにくい状況になっている。</p> <p>・周辺の幹線道路が未整備のため、狭い道路における自動車通行量が多く、学校に通学するたくさんの歩行者、自転車利用者の安全性に問題がある。</p> <p>・プロサッカーチームであるJ2ザスパ草津のホームグラウンドがあり、高校サッカーでも活躍が続いている“サッカー(スポーツ)王国前橋”において、次代を担う子ども達が自由に手軽にサッカー、スポーツを楽しめる環境が不足している。</p> <p>・豊かな自然を背景にしたサイクリングロードを有した桃ノ木川及び広瀬川の利用、鉄道駅と道路結節点とが近接する交通拠点としての活用など、地域における有効な資産を十分に活用できていない。</p>
将来ビジョン(中長期)
<p>・区画整理事業、人にやさしい道路整備事業、ユニバーサルデザインによる美しい景観形成を考慮したサイン事業等の良好な住環境整備による安全と安心の向上を進め、更に、豊かな緑、清らかな川、穏やかな風等の自然を親しみ、地域の歴史的資産等の文化に触れることができ、気軽にスポーツが楽しめる、広場整備や広瀬川サイクリングロード整備等のラブリバー整備を進め、知識・技術だけでなく、心と体が健やかに育む環境整備を行い、全国の規範(モデル)となる、安全安心な欧州型の学園都市の形成を図る。</p> <p>・ラブリバー整備により、安全で快適なサイクリングロードによる自転車通学の利用促進、サッカー王国群馬の子ども達が何時でもボールを楽しめる広場整備によるスポーツ振興、水辺公園等のレクリエーション整備によって自然へ帰帰親しめることによるゆとりの増加を図り、全ての市民が憩い楽しめる環境整備を進め、さらには、地域の歴史的資産等の文化や潤いのある自然に対する観光とサイクリングが一体化したサイクルツアーの推進や「自転車でデズニerland」「自転車でぐんま・まえばし」等による自転車関連イベントによる地域の活性化及び観光促進を図る。</p>

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
居住者数	人	区域内居住者数	豊かな美しい自然環境と快適な生活環境を整備し、地域振興の指標とする	13,712	H17	14,500	H22
歩行者・自転車数の増加	人	パーソントリップによる交通量	多くの学生を引き付ける魅力ある学園都市の指標とする	422	H14	450	H22
主要住宅団地からの駅への移動距離移動時間の短縮	m/分	車両交通による駅への到達時間短縮	アクセス道路の強化による快適な生活環境の構築の指標とする	300	H16	340	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>安全安心で心・技・体を健やかに育むスーパーモデル学園都市の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区画整理事業、人にやさしい道路整備、ユニバーサルデザインによる美しい景観形成を考慮したサイン事業等の良好な住環境整備による安全と安心の向上を図る ・広場整備や広瀬川サイクリングロード整備等のラブリバー整備により、自然・文化・スポーツに親しみ、技術だけでなく、心と体を健やかに育む環境整備を行う ・学園都市における自転車通学安心安全プログラム事業等による安全安心の徹底を図る。 	<p>道路事業(基幹事業)【駒形駅前通線・駒形駅北口線・日下部橋通線】</p> <p>土地区画整理事業(基幹事業)【駒形第一土地区画整理事業】</p> <p>地域生活基盤施設事業(基幹事業)【駒形駅北口広場整備・学園都市サイン事業】</p> <p>高次都市施設(基幹事業)【駒形駅南北自由通路設置事業】</p> <p>地域創造支援事業(提案事業)【自転車通学安心安全プログラム事業】</p> <p>地域創造支援事業(提案事業)【駒形駅北口線排水環境向上化整備事業】</p>
<p>環境にも健康にもやさしい自転車利用を促進し、市民が憩い楽しめるラブリバー整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全、健康増進に役立つ自転車利用の促進を図る広瀬川サイクリングロード整備等のラブリバー整備を行う ・安全安心で快適な広瀬川サイクリングロードの再整備、桃ノ木川及び広瀬川沿いに誰でも気軽にスポーツが楽しめる広場整備や自然に回帰してゆとりの増加を図る水辺公園整備を行う 	<p>道路事業(基幹事業)【駒形下増田線・増田通線・市道00-330号線・市道11-796号線・広瀬川サイクリングロード新設】</p> <p>地域生活基盤施設事業(基幹事業 広場)【下増田運動広場整備】</p> <p>高質空間形成施設事業(基幹事業)【緑と桜の回廊事業】</p> <p>地域創造支援事業(提案事業)【水辺広場整備】</p>
<p>ラブリバー整備による地域の活性化と観光促進及び基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用促進のスーパーモデル地区として、自転車利用の促進(PR)、自転車利用と観光が一体化したサイクルツアーの推進、「自転車でデイズツーランド」「自転車でまえばし」の自転車関連イベント等により、地域の活性化と観光促進を図る ・玄関口となる駒形駅、駒形ICの周辺整備、アクセス道路整備等の基盤整備を図る 	<p>道路事業(基幹事業)【駒形駅前通線】</p> <p>地域生活基盤施設事業(基幹事業 広場、駐車場、自転車駐車場)【駒形駅北口広場整備】</p> <p>地域創造支援事業(提案事業)【駒形駅舎橋上化整備事業・スーパーモデル地区PR事業】</p>

その他

○環境都市、生命都市としての一つのビジョンである、環境にも健康にもやさしい自転車利用促進

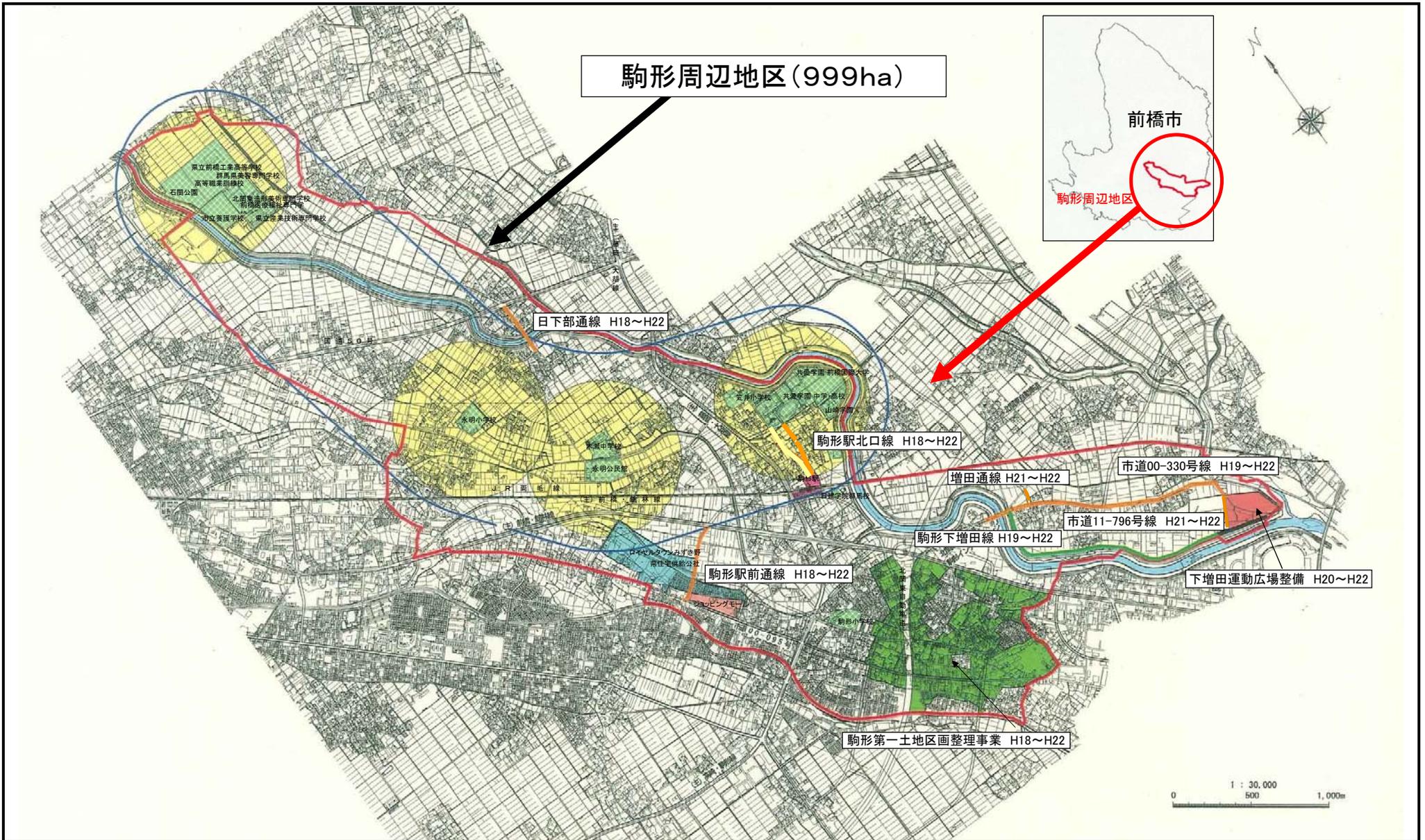
本市は、自動車依存度が極めて高いことを要因とした交通事故・交通渋滞、公共交通機関の衰退、市街地空洞化、環境汚染問題の解決重要施策として、自動車利用から環境保全・健康増進等に役立つ自転車利用の転換を進めている。平成10年より自転車の走りやすい環境を整えるために国道、県道、市道を整備して連結する「サイクリングロードネットワーク計画事業」や第5次総合計画による歩道段差解消等の「人に優しいみちづくり事業」を進め、平成11年12月に自転車利用環境整備モデル都市に指定(全国19地区)され、基本計画を作成し、歩行者道と自転車道の色分け、透水性舗装、段差の解消等による歩行者自転車道空間環境整備を進めている。さらには、平成16年2月にはサイクリングを楽しみながら地域の魅力をゆっくりと堪能する新しいツーリズムである“サイクルルアー”の推進モデル地区(全国15地区)となっており、観光と自転車利用を一体化した地域の活性化を図っている。そして、平成17年3月には、全国3市の一つとして、自転車利用のスーパーモデル地区に認定され、環境にも健康にもやさしい、自転車利用の促進事業を進めている。

本市の将来像を考えた、一つの方向性である、環境都市・生命都市のビジョンと合致する自転車利用の促進は、今回の都市再生整備計画の目標である「心・技・体を育む安心安全なスーパーモデル学園都市の形成と緑、水、スポーツ、生命を慈しみ楽しむラブリバーづくり」に大きく関与している。

○安全安心の向上を図るため、下増田運動広場を地域防災計画における一次避難所として位置づける。

都市再生整備計画の区域

<p>駒形周辺地区(群馬県前橋市)</p>	<p>面積</p> <p>999 ha</p>	<p>区域</p> <p>駒形町・小屋原町・上長磯町の全部及び山王町二丁目・上大島町・女屋町・野中町・下長磯町・下大島町・筑井町・下増田町の一部</p>
-----------------------	-------------------------	--



駒形周辺地区(群馬県前橋市) 整備方針概要図

目標	心・技・体を育む安全安心なスーパーモデル学園都市の形成と緑、水、スポーツ、生命を慈しみ楽しむラブリバーづくり	代表的な指標	居住者数 (人)	13,712	(H17年度)	→	14,500	(H22年度)
			歩行者・自転車数 (人)	422	(H14年度)	→	450	(H22年度)
			移動時間の短縮 (m/分)	300	(H16年度)	→	340	(H22年度)

